## 京阪ビルテクノサービス㈱が見守る「京阪東ローズタウン」の暮らし

平成4年に街びらきした「京阪東ローズタウン」では、高性能のホームセキュリティとともに巡回車が街をパトロールし、異常が発生した際にはすみやかに駆けつけるタウンセキュリティを構築しています。このシステムを担っているのが、京阪ビルテクノサービス㈱の「京阪東ローズタウンKBT警備センター」です。

24時間体制で各ご家庭のホームセキュリティを監視・制御することに加え、昼夜を問わず定期的に巡回車が街をパトロールすることで、犯罪を抑止、ひいては不審者を寄せ付けない街づくりにつながっており、データ上でも近隣の街と比較して空き巣被害が少ないという結果も出ています。

さらに、平成26年6月からは女性社員による「コンシェルジュ」サービスを開始。自転車や徒歩でタウン内を回り、お住まいの方々へのお声がけや情報媒体の配布を通じ、セキュリティの啓発やニーズの把握など、安心・安全の向上に向けたコミュニケーションを深めていきたいと考えています。

同社の事業領域は、セキュリティ関連事業のほか、施設管理事業など多岐にわたりますが、鉄道事業で培われた安心・安全のDNAを最重視した事業展開を心がけています。

巡回車によるパトロールの様子

コンシェルジュ

## ㈱京阪百貨店の「食育」に関する取り組み

㈱京阪百貨店は、昭和60年10月に守口店を開業して以来、地域に根差した百貨店としてご愛顧いただき、現在では5店舗まで店舗網を広げ、平成27年10月に開業30周年を迎えます。

食品フロアに強みを持つ同社では、高品質でおいしい、安全・安心な食の提供を心がける一方で、同社で扱う食品に込められた生産者の想いや品質へのこだわりをお客さまに伝えることを目的として、「食育」をテーマに年2～3回のペースで生産現場への訪問や工場見学を実施しています。

平成27年5月には、お米を中心とした農作物の生産に加え、石川県加賀地方の食文化の伝統を大切にした鏡餅などの加工・販売までを一貫して行う、農業の六次産業化のモデルケースとして知られる㈱六星（石川県白山市）に、抽選で選ばれたお客さま36名を招待し、田植えと餅つきを体験していただきました。

地域密着型の百貨店として、今後もお客さまに選ばれ続けていくためには、取り扱う食品にさらに磨きをかけるだけではなく、お客さまとのコミュニケーションを深め、ファンになっていただく取り組みが大切と考えています。今後も、生産現場への訪問など「食育」をテーマとした取り組みを数多く展開していく予定です。

京阪百貨店守口店

田植え体験

## ㈱琵琶湖ホテルの「里山の食彩」

琵琶湖を目前に雄大な比叡、比良の山々を眺めるロケーションにある琵琶湖ホテルでは、平成14年から「里山の食彩」という環境保全をテーマにした取り組みを展開しています。

ビワコオオナマズなど貴重な固有種を多く育む琵琶湖は、自然豊かな生態系と人々の暮らしが共存する、世界にも類を見ない湖です。しかし、近年の生活文化の激変により、昔ながらの自然環境を保つことが難しくなっています。例えば、湖西に多く見られる美しい棚田は、洪水や地滑りの防止に役立ち、琵琶湖の豊かな生態系形成の一翼を担っている反面、コスト高や後継者不足などから存続が危ぶまれています。

「里山の食彩」は、そんな昔から伝承されていた棚田米や地元野菜を食材として積極的に採用し、ホテル内の多くのお客さまに召し上がっていただくことで、琵琶湖を中心とした美しい自然環境との持続的な共生を目指す取り組みです。

「日本の棚田百選」に指定されている高島市畑地区と大津市仰木地区の専属農家から仕入れた棚田米や、地元の造り酒屋との協力により誕生した棚田米の地酒など、食を楽しむことで環境にも寄与できる「里山の食彩」は、お客さまからも高い支持をいただいています。

また、平成21年からは、棚田の畦道になぞらえた豊かな自然環境をホテルのボードウォークに再現し、お客さまにも感じていただく「山野草プロジェクト」にも取り組んでおり、このプロジェクトは、平成22年に（財）都市緑化基金の「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」にも選ばれました。

美しい棚田

棚田が果たしている役割(機能)